

明け行く罪の一夜

帝キネ芦屋現代映畫

原作並脚色者
監督者

水町 恭一郎氏
松本 英一氏
二宮 義曉氏

主要役割

農夫與吉 松本 泰輔氏
女房お福 笠置 彌生嬢
次女お幸 藤原 愛子嬢
長女お慶 松葉 あみ子嬢
長男安二 町田 慶太郎君
巡査吉本誠介 吉田 豊作氏

解説「悲しき勇勇」について松本英一氏が監督製作した現代劇である。

略筋——病弱の與吉は妻に捨てられ三人の子を抱へ今はどん底の苦悶に喘いでゐた。母を慕ひ空腹を訴ふ我兒を見ては、只生きたが爲めに手段を考慮する暇もなく遂に罪を犯し、鐵窓に繋



がる、身となつた。妻を怨み、兒を想ふ念は胸を裂くばかりであつた。或夜彼は破獄の大罪を犯し圖らずも妻お福に逢つた。燃ゆる憤怒は彼女を殺した。彼は愛兒に合つた時親を戀ふ喜びは外の眼にもいぢらしいものがあつた。與吉が再び囹圄の人として拉し去られた後は寄邊なき幼き三人の孤兒は、温情神の如き吉本巡査の保護のもとに父の歸る日の早からん事を祈るのであつた。